

総合科目II 科目群C 100番台

整理番号	科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
II-104	1C24201	ヒューマンハイパフォーマンスを引き出す最新スポーツ科学(1)	1	1.0	1・2	春AB	月1	5C407	小池 関也	スポーツ科学の進歩はオリンピックを目指すアスリートのみならず、日常的な生活を営む我々においても有益である。特に近年、続々と明らかにされるスポーツ科学の知見は、現代社会が直面する青少年の体力や意欲の低下、アスリートやビジネスマンのオーバーワークによる生産性と意欲の低下、高齢者の健康や生きがいの低下など、「人と社会の活力低下問題」解決につながる可能性を秘める。本講義では、認知機能を高める運動プログラムや意欲を高める運動用具など、心身の活力を最大限に引き出す(ヒューマンハイパフォーマンス)最先端の生命・認知科学を導入した次世代健康スポーツ科学について紹介する。	(体育開設) 【受入上限数120名】
II-105	1C07011	心の実験室1	1	1.0	1・2	春AB	月2	2H101	望月 聡	一口に心理学といっても、様々な専門分野がある。本講義では、各分野の研究から身近なわかりやすいトピックを選び、関連した著名な実験や調査、事例などから得られた知見を、研究法も含めて解説する。	(心理開設) 人間学群学生の受講は認めない。 【受入上限数200名】
II-106	1C08011	障害と共に生きるI	1	1.0	1・2	春AB	月2	2B309	小島 道生, 塩川 宏郷, 柿澤 敏文, 加藤 靖佳, 宇野 彰, 吉野 眞理子, 山中 克夫, 猪俣 朋恵, 熊谷 恵子	障害科学が蓄積してきた知見と最新の研究を主に医学・生理学・心理学的視点から紹介する。ヒトには個体として生存し、種を保存する目的でいるいろいろな機能が備わっている。何らかの原因でこれらの本来の機能が果たせなくなるとさまざまな障害が生じてくる。このさまざまな障害の形態とその原因を学ぶことを通じて、人間の生命の原理を探究する。	(障害科学開設) 人間学群学生の受講は認めない。 【受入上限数200名】
II-107	1C10131	筑波大学から診る環境問題	1	1.0	1・2	春AB	月2	3A306	内海 真生	21世紀を生きる者として、地域から地球規模まで様々なレベルの環境問題について知り、考え、行動していくことは必須の要素となる。現在、筑波大学は学内の環境改善と保全に積極的に取り組んでいる他、茨城県、つくば市と共同で「環境都市つくば」を目指し様々な取り組みを行っている。本授業は、筑波大学キャンパスの環境問題から環境都市構築のための様々な諸課題、地球規模の環境問題について各専門家からの講義、また、学内の環境改善活動に実際に携わる体験、を通じて、筑波大生として様々な環境問題に対する俯瞰力と行動力を身につける一助になることを目的に開講する。	(資源開設) 【受入上限数150名】
II-108	1C10141	自然保護学入門	1	1.0	1・2	春AB	月2	3A304	上條 隆志	わたしたち人間は、自然からたくさんのお恵を受けて暮らしています。その一方で、地球環境問題の深刻化、都市化、野生生物の減少、人と生き物とのふれあいの希薄化など、わたしたちと自然とをとりまく関係は急速に変化をしています。本講義では、自然保護に関わる概念と実践例を知り、人と自然とがよりよい関係を築いていくために、どのようなことが大切かを考えます。	(資源開設) 【受入上限数120名】
II-109	1C17101	都市・地域・環境を探るI	1	1.0	1	春AB	月2	3A416	大澤 義明, 藤井 さやか	近年の世界的な社会経済状況の激変により、私たちの住宅や、生活する都市、地域の環境は様々な変化の圧力を受けている。この変化を受動的に受け止めるのではなく、変化のメカニズムを理解し、望ましい環境を形成する主体的な知力を身につけることが求められている。Iでは、筑波研究学園都市を出発点として、都市の成立や仕組み、構成要素とその適正配置などの観点を通じて、身近な環境から都市・地域・環境の問題を考える。	(社工開設) 【受入上限数120名】

※教室は、受講調整の結果等により変更の可能性があります。
変更のあった教室は掲示により周知しますので、必ず各支援室掲示板を確認してください。

整理番号	科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
II-110	1C22031	プレコンセプション・ケア	1	1.0	1・2	春AB	月2	3A202	岡山 久代, 涌水 理恵, 川野 亜津子, 杉本 敬子, 福澤 利江子, トゴバタラ ガンチメゲ	国内外の性に関する健康問題、妊娠・出産・育児事情、親子・家族関係、子どもをとりまく問題、生殖に関する倫理的問題について学び、将来親になるとしたら、今必要なことは何か?について考察する。	(看護開設) 【受上限数150名】
II-111	1C24181	競馬の世界	1	1.0	1・2	春AB	月2	5C416	松元 剛	1862年にわが国初の競馬が行われて、150年の歴史を持つ競馬の世界。観客数10万人を集めるレースも行われ、その人気は新聞、テレビなどのメディアによる報道でも読み取れる。競馬の世界は、サラブレッドという競走馬に注目が注がれるが、その裏では騎手、厩舎、日本中央競馬会など多くの専門家によって支えられており、この授業ではその舞台裏に迫ってみる。授業内容は、競馬の歴史、世界の競馬、日本の競馬、競走馬のトレーニングと研究、競馬場の施設・運営、厩舎、競技としての競馬、競馬学校の役割、騎手の身体的特性等である。	(体育開設) 【受上限数100名】
II-112	1C24221	自然人類学I	1	1.0	1・2	春AB	月2	5C506	足立 和隆	自然人類学は、ヒトという特殊な特徴を持つ生物を、生物学の観点から研究する学問である。やや抽象的にいえば、「ヒトが、どこから来てどこに行くのか?」を探究することである。すなわち、地球上に生物が誕生し、哺乳類が生じ、霊長類が出現し、そしてヒトが生じてこにちの人類となった進化の道筋を様々な研究方法によってさぐる。「自分自身を知る」ということは、人生を生きていく上で必要な知識であり、他人と関わる社会生活を営むにあたり、人類学の基本概念であるヒトの「共通性と多様性」を理解することは重要である。自然人類学Iでは、ヒトの特性と化石による進化の研究を紹介する。	(体育開設)【受上限数120名】
II-113	1C11511	日本の自然	1	1.0	1・2	春AB	水5	1C505	角替 敏昭, 指田 勝男	ユーラシア大陸の東端に位置する日本列島およびその周辺地域でみられる地質学的現象の特徴とその成因について講義する。特に46億年の地球史の中で、日本がどのように位置づけられるか学習する。また、筑波山周辺など身近な地域の変遷についても紹介する。	(地球開設)外国人留学生及び帰国生徒に限る。平成27年度以前の7200131の単位取得者は、授業内容が異なるため履修を可とする。 【受上限数40名】
II-114	1C26110	キャリアデザイン-働く自分-	0	1.0	1・2	春B 夏季休業中 秋A	集中	1C306 共同利用棟 A101 1C306	末富 真弓	地元企業における1週間程度の就業体験(インターンシップ)と事前・事後教育を通じて、働くこと及び社会で求められる基礎的な態度や能力についてリアルに体感するとともに、自身の学群以降のキャリア形成について考えを深めることを目的とする。同時に大学時代という時間の有限性を再認識し、学修と学生生活両面における能力開発目標や行動目標の設定、意欲の向上を支援する。	(ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター キャリアサポート部門企画) 6/21(1C306), 8/5(共同利用棟A101), 10/4(1C306) CDP 夏季休業中に5日間のインターンシップを行う。 【受上限数30名】
II-115	1C23021	医療・生命科学とテクノロジー	1	1.0	1・2	秋AB	月1	3A304	磯辺 智範	科学は多くのテクノロジーの発達とともに発展してきており、医療も例外ではない。医療分野では、目で見えないものを可視化する、生体の機能や情報を明らかにする、あるいは失われた身体の機能を回復するためのテクノロジーが駆使されている。そこで、この科目ではテクノロジーに焦点をあて、それらが明らかにしてきた生命の姿や病態、および最新の診断・治療技術への繋がりについて解説する。	(医療開設) 【受上限数120名】

※教室は、受講調整の結果等により変更の可能性があります。
変更のあった教室は掲示により周知しますので、必ず各支援室掲示板を確認してください。

整理番号	科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
II-116	1C24211	ヒューマンハイパフォーマンスを引き出す最新スポーツ科学(2)	1	1.0	1・2	秋AB	月1	5C407	小池 関也	スポーツ科学の進歩はオリンピックを目指すアスリートのみならず、日常的な生活を営む我々においても有益である。特に近年、続々と明らかにされるスポーツ科学の知見は、現代社会が直面する青少年の体力や意欲の低下、アスリートやビジネスマンのオーバーワークによる生産性と意欲の低下、高齢者の健康や生きがいの低下など、「人と社会の活力低下問題」解決につながる可能性を秘める。本講義では、認知機能を高める運動プログラムや意欲を高める運動用具など、心身の活力を最大限に引き出す(ヒューマンハイパフォーマンス)最先端の生命・認知科学を導入した次世代健康スポーツ科学について紹介する。	(体育開設)【受入上限数120名】
II-117	1C07021	心の実験室2	1	1.0	1・2	秋AB	月2	2H101	望月 聡	一口に心理学といっても、様々な専門分野がある。本講義では、各分野の研究から身近なわかりやすいトピックを選び、関連した著名な実験や調査、事例などから得られた知見を、研究法も含めて解説する。	(心理開設) 人間学群学生の受講は認めない。【受入上限数200名】
II-118	1C08021	障害と共に生きるII	1	1.0	1・2	秋AB	月2	2B411	佐島 毅, 森地 徹, 宮本 昌子, 原島 恒夫, 安藤 隆男, 小林 秀之, 左藤 敦子, 園山 繁樹, 岡崎 慎治	障害科学が蓄積してきた知見と最新の研究を主に発達・行動・生活支援の観点から紹介する。人間の生活行為は、認知機能や言語機能、運動機能などの諸機能がさまざまに関連しあって実現している。障害のある人の支援方法を学ぶことで、障害のある人もない人も共に「自立」と「自己実現」の可能な社会とはどのような社会なのかについて、受講生が自ら考える機会を提供したい。	(障害科学開設) 人間学群学生の受講は認めない。【受入上限数200名】
II-119	1C10061	沙漠	1	1.0	1・2	秋AB	月2	2B412	川田 清和	沙漠・乾燥地が地球全体の陸地面積に占める割合は1/3で、しかも拡大している。本講ではその自然や問題点そして人類とのかかわりについて考える。前半は地球温暖化、沙漠化・土壌劣化、また生育する生物の多様性や有用性、緑化の可能性などについて述べる。後半はそこに生活する人々の社会や文化に関して述べる。	(資源開設)【受入上限数200名】
II-120	1C17111	都市・地域・環境を探るII	1	1.0	1	秋AB	月2	3A416	大澤 義明, 藤井 さやか	近年の世界的な社会経済状況の激変により、私たちの住宅や、生活する都市、地域の環境は様々な変化の圧力を受けている。この変化を受動的に受け止めるのではなく、変化のメカニズムを理解し、望ましい環境を形成する主体的な知力を身につけることが求められている。IIでは、国際比較からみた日本の都市の特徴、人口の将来予測、環境問題などの観点を通じて、広域的・国際的・地球環境的な視野から都市・地域・環境の問題を考える。	(社工開設)【受入上限数120名】
II-121	1C21201	スポーツ医学とは?フロンランナーに聞いてみよう!!	1	1.0	1・2	秋C	月1.2	2H101	竹越 一博	スポーツ医学のフロントラインで教育・研究をおこなっている教員より、その最新の医学事情を学び、今後のスポーツ分野あるいは医療分野においてスポーツ医学の果たす役割について理解する。	(医学開設)【受入上限数120名】
II-122	1C24231	自然人類学II	1	1.0	1・2	秋C	月1.2	5C506	足立 和隆	自然人類学IIでは、遺伝子、民族、霊長類などをキーワードにして授業を行ない、日本人の成り立ちや、自然人類学が社会において役立っている分野についても紹介する。	(体育開設)【受入上限数120名】

※教室は、受講調整の結果等により変更の可能性があります。
変更のあった教室は掲示により周知しますので、必ず各支援室掲示板を確認してください。